

製品名: SAMHD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17592**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	SAMHD1
別名	SAMHD1; MOP5; SAM domain and HD domain-containing protein 1; Dendritic cell-derived IFNG-induced protein; DCIP; Monocyte protein 5; MOP-5
遺伝子 ID	25939.0
SwissProt ID	Q9Y3Z3
免疫原	抗血清は、ヒト SAMHD1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

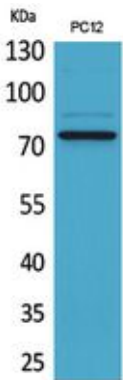
背景

SAM および HD ドメイン含有デオキシヌクレオシド三リン酸トリホスホヒドロラーゼ1 (SAMHD1) Homo sapiens この遺伝子は、自然免疫応答の調節に関与している可能性がある。コードされているタンパク質はウイルス感染に反応して発現が上昇し、腫瘍壊死因子 α (TNF- α) による炎症誘発反応の媒介に関与している可能性がある。この遺伝子の変異は、エカルディ・グティエール症候群と関連付けられている。[RefSeq 提供、2010年3月],機能: TNF- α シグナル伝達に対する炎症誘発反応の媒介に関与している可能性がある。誘導: インターフェロン γ による。TNF- α 処理肺線維芽細胞において発現が上昇する。類似性: HD ドメインを1つ含む。類似性: SAM (sterile alpha motif) ドメインを1つ含む。組織特異性: 心臓、骨格筋、脾臓、肝臓、小腸、胎盤、肺、末梢血白血球で発現する。脳および胸腺では発現が認められない。、

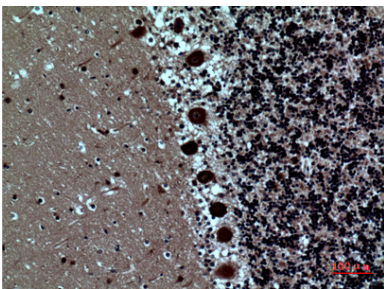
研究分野

微生物学

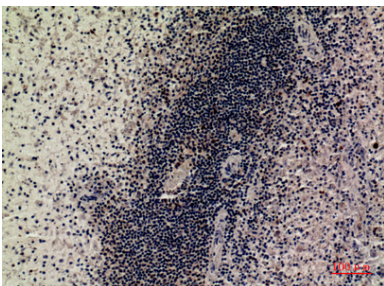
画像データ



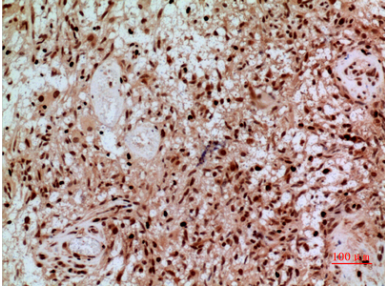
SAMHD1 ポリクローナル抗体を使用した PC12 細胞のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



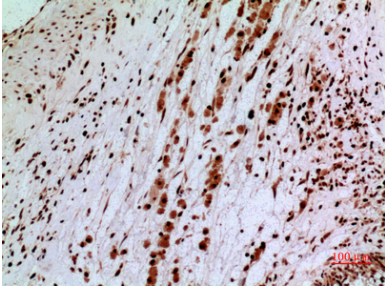
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された